

授精課通信



現在授精課は、太田・平間・中西の3人態勢で稼働しているのですが、中西の自己紹介をしておりませんでしたのでこの場を借りて改めて自己紹介させていただきます。

*こんにちは。授精師の中西晴香と申します。

以前はTHMSの事務職員でした。昨年の10月頃に授精師へと転向する機会を頂き、それから事務仕事をしながら繁殖検診に随行し直検の練習を始めました。

小さな頃から牛が大好きだったので、実際に現場に行き直検の練習をするということがとても楽しく毎日が充実してキラキラしていました。なかなか上達せず、とてつもない不安に何度もかられましたが、獣医の先生方から丁寧でわかりやすいアドバイスをいただき、何とか少しずつ前に進めました。

頸管へのシース管の注入動作は、農家さんに廃用牛を用意していただき、練習を行いました。私の師匠である太田さんは、すごく簡単そうに注入をしているのに、いざ自分で挑戦してみると頸管の入り口に到達するのさえ難しく、何度も「牛がスケルトンだったら、実際にどこでどうなっているのか目で分かって良いのに。」と思いました。

今年に入ってから授精師免許取得の為に、約1カ月間札幌の八紘学園に通わせていただき、その際に感じたのは、私は農家さんや当社の皆さんに協力してもらいとても恵まれた環境で勉強ができていたのだという事です。感謝の気持ちでいっぱいになりました。

9月からは一人で現場を回るようになり、あっという間に3カ月が過ぎていきました。自分の力量不足で余裕が無くなり、怖い顔で忙しくバタバタと農場内で動いている時もあるなあと、反省しています。当社男性陣に、もまれながら仕事をしているからなのか、はたまた気の緩みなのかわかりませんが、世の中でいう「女子力」というものも日に日に欠けてっっているなと反省中です。農家さんとの何気ない会話が、今の私の癒しであり活力になっているので今後はより一層、元気と笑顔いっぱいの農家さんに寄り添える授精師を目指して励んでいこうと思います。あとは、大好きな牛がその農場で活躍出来るように、受胎させたいという気持ちを忘れずに接していきたいです。

今後も宜しくお願い致します。

